

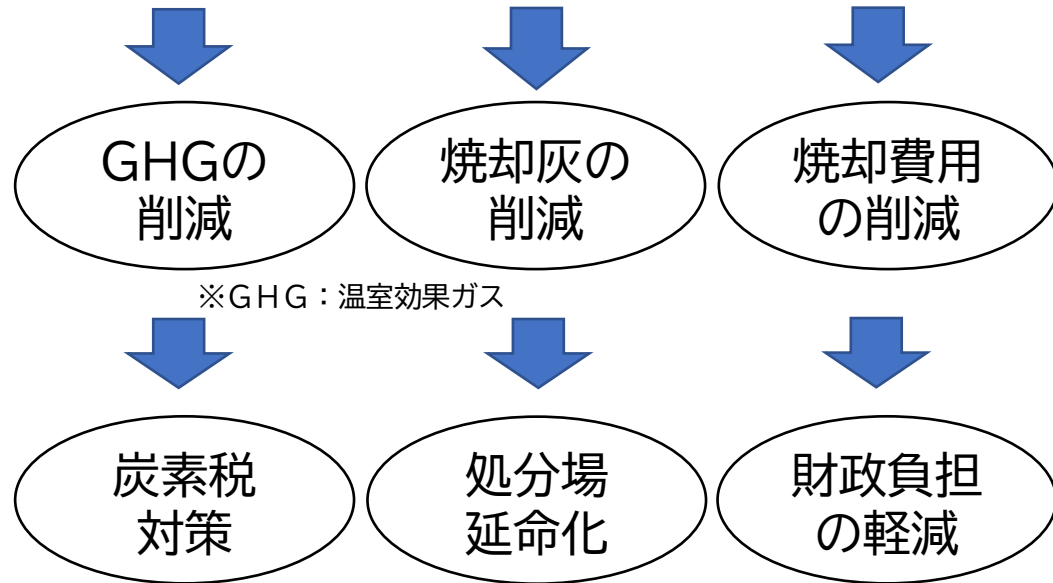
2050(令和32)年までにカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量を実質ゼロにする)の実現を目指す

焼却や埋め立てに依存しないごみ収集・処理のスキームの構築が必要

実現したいこと

目指す姿の実現に向けてやるべきこと

ごみを燃やさずに資源化



- ①現在の「燃えるごみ」から資源物を取り出す
- ②取り出した「資源物」を再生処理事業者へ引き渡し、市内または県内での循環を念頭に再生処理を行う
- ③市内のごみから生成された活用製品を市民へ還元
⇒市民による分別が市民の生活に活かされるスキーム
- ④市民による活用製品の利用・消費

持続可能な資源循環スキームの構築を目指し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進める